

2021年2月21日
祈りの時
詩篇7篇1～13節

〈7〉ベニヤミン人クシュのことについてダビデが主に歌ったシガヨンの歌

7:1 私の神、【主】よ。私はあなたのもとに身を避けました。どうか、追い迫るすべての者から私を救ってください。私を救い出してください。

7:2 救い出す者がいない間に彼らが獅子のように、私のたましいを引き裂き、さらって行くことがないように。

7:3 私の神、【主】よ。もし私がこのことをしたのなら、もし私の手に不正があるのなら、

7:4 もし私が親しい友に悪い仕打ちをしたのなら、
また、私に敵対する者から、ゆえなく奪ったのなら、

7:5 敵に私を追わせ、追いつかせ、私のいのちを
地に踏みにじらせてください。私のたましいをちりの
中にとどまらせてください。 セラ

7:6 【主】よ。御怒りをもって立ち上がってください。
私の敵の激しい怒りに向かって立ち、私のために目を
さましてください。あなたはさばきを定められました。

7:7 国民のつといをあなたの回りに集め、その上の
高いみくらにお帰りください。

7:8 【主】は諸国の民をさばかれる。【主】よ。私の
義と、私にある誠実とにしたがって、私を弁護してく
ださい。

7:9 どうか、悪者の悪があとを絶ち、あなたが正しい
者を堅く立てられますように。正しい神は、心と
思いを調べられます。

7:10 私の盾は神にあり、神は心の直ぐな人を救われる。

7:11 神は正しい審判者、日々、怒る神。

7:12 悔い改めない者には剣をとぎ、弓を張って、ねらいを定め、

7:13 その者に向かって、死の武器を構え、矢を燃える矢とされる。

1 ダビデはサウル王に忠実に仕えていく先々で勝利を収めました。民衆が「サウルは千を倒しダビデは万を倒した」と歌っている声にサウルはダビデに嫉妬をして殺害しようとしてしました。ダビデはサウル王から追われて逃避行をしていました。逃避行先でノブの祭司アヒメレクは空腹のダビデにパンを与え助きました。それを見ていたドエグはアヒメレクはダビデを助けたとサウルに密告しました。烈火のごとく怒ったサウルはアヒメレク一家を虐殺しました。

それを聞いた時のダビデの祈りです。

私たちも人から妬まれることがあります。誤解されることがあります。毒矢のような言葉で非難されることもあります。そんなとき1節「私の神、主よ。私はあなたのもとに身を避けました。どうか、追い迫るすべての者から私を救ってください。私を救い出してください。」と主に身を避ける判断行動ができるように祈りましょう。

2 3～5節では私の手に不正があるのなら、悪い仕打ちをしたのなら、と祈りの中で自分を吟味しています。不当な仕打ち、取り扱いをされる時には復讐心、怒り、報復の思いから行動に出る衝動もあります。相手の不当な仕打ちの中にあっても、主に祈ること、主の前に出られること、祈りの中で主に吟味していただいて、悔い改めが必要なら自分の問題、罪を主に告白しましょう。

3 6～9節を読みましょう。「主よ。御怒りをもって立ち上がってください。」と激しい祈りをしています。自分に親切にしてくれて虐殺されたアヒメレクへの思い、密告したドエグへの怒りの中で、神様に委ねて、自分で復讐をしたり行動をしないで主に委ねて祈っています。神様の正しい裁きが行われるように主に委ねて祈りましょう。

4 10～13節を読みましょう。ダビデは八方ふさがりの状況の中で、10節「私の盾は神にあり、神は心の直ぐな人を救われる。」と告白しています。神様は盾であると信仰の告白をしています。私たちも今日、神様は私の盾であると信仰の告白をしましょう。危険にさらされる時も、他者から責められ非難され、攻撃される時であっても、神様は私の盾であると告白しましょう。復讐しなさいと心に誘惑が来ても神様は心も守ってくださる盾であります。主の盾で日々私をお守りくださいと祈りましょう。

2021年2月第3の主の日の礼拝です。

寒い日、雪の日が続いていますが
大地は春の芽生えの準備をしています。
冬枯れの木の枝も色づき始めています。

試練、苦難の後、
神様は復活の恵みを与えてくださいます。
今、苦難の中におられる方々に主の恵みが
与えられるように祈りましょう。

教会総会や団体総会の季節です。

主からのビジョンが与えられ

計画が立てられるように。

立てられた役員や奉仕者、牧会者の働きが

主の恵みによって祝福されるよう祈りましょう。

創造的な考えで今年の歩みができるように。

礼拝、その他の集会が

祝福されるように祈りましょう。

リモートで礼拝を守っておられる方々が祝福される

ように祈りましょう。

入学卒業進学就職など変化の季節です。

家族、子供たち、友のことを覚えて、

主の道が開かれるよう祈りましょう。

空手教室も始まりました。

講師の朱達基先生のため、参加者のため、

安全のために祈りましょう。

教会学校が祝福されよう祈りましょう。

一人一人の仕事、経済が守られ祝福される

ように。この一週間元気に守られ、

又来週元気に主を礼拝できるように。

主の祈り

天にまします我らの父よ
願わくは御名をあげさせたまえ
御国を来たらせたまえ
御心の天になるごとく 地にもなさせたまえ
我らの日用の糧を今日も与えたまえ
我らに罪を犯すものを我らが赦すごとく
我らの罪をも赦したまえ
我らを試みにあわせず
悪より救いいただいたまえ
国と力と栄えとは
限りなく汝のものなればなりアーメン